

今月16日、福祉用具専門相談員が一堂に会して様々な研究発表を行う「第3回福祉用具専門相談員研究大会」が開催される。主催は第3回福祉用具専門相談員研究大会実行委員会。共催は全国福祉用具専門相談員協会（ふくせん）と日本福祉用具供給協会（日福協）。大会テーマは「福祉用具の未来につながる専門性の追求」PDC Aサイクルの推進は福祉用具の適合が鍵。大会長の岩元文雄氏（ふくせん）は、福祉用具

福祉用具専門相談員研究大会 16日、第3回大会開催へ 専門性の追求がテーマ



昨年の研究大会の様子

専門相談員の使命について、地域包括ケアシステムの概念を表す植木鉢の図にある「すまいと住まい方」の変化に対して、その専門性を遺憾なく発揮して適時・適切な福祉用具・住宅改修サービスを適合させていくことだ」と期待を込める。

大会テーマに沿って、PDC Aサイクルの推進（座長：河口青児氏）や「福祉用具安全利用に向けた取組」（東島弘子氏）など、5つの演題別に30組の個人・チームが発表予定。特別講演は上智大学総合人間科学部社会福祉学教授の香取せん。

開催日時は6月16日午前11時～午後5時30分。ニッショーホール（東京都港区）とオンラインで開催。参加費は会員5千円、一般1万円。申し込みは研究大会のサイトから。問い合わせ03・5418・7700（ふくせん）

専門相談員の使命について、地域包括ケアシステムの概念を表す植木鉢の図にある「すまいと住まい方」の変化に対して、その専門性を遺憾なく発揮して適時・適切な福祉用具・住宅改修サービスを適合させていくことだ」と期待を込める。

大会テーマに沿って、PDC Aサイクルの推進（座長：河口青児氏）や「福祉用具安全利用に向けた取組」（東島弘子氏）など、5つの演題別に30組の個人・チームが発表予定。特別講演は上智大学総合人間科学部社会福祉学教授の香取せん。

開催日時は6月16日午前11時～午後5時30分。ニッショーホール（東京都港区）とオンラインで開催。参加費は会員5千円、一般1万円。申し込みは研究大会のサイトから。問い合わせ03・5418・7700（ふくせん）